

では対処できません。手術室をはじめ病院における診断や治療の状況を熟知した電気工学専門家が不可欠となります。この専門家が臨床工学技士 (Clinical Engineer, CE) です。

二、臨床工学技士誕生の経緯

国家資格制度未完成の時代でも、医療の進歩は、人工心肺技師、手術室技師、ICU技師、高気圧治療技師、透析技師などと呼ばれる一群の技術専門家を必然的に生み出し、その数は次第に増加しました。なかでも透析技術の急速な進歩と健康保険適用により、一九七〇年代半ばから多数の慢性腎不全患者が人工透析治療を受けられるようになり、透析患者の数は急増し、それに伴って透析技師の数もさらに増えました。

そのような状況にかんがみ、各診療科の技師をまとめる形で、医学と工学の両面を兼ね備えた新しい国家資格の医療職として「臨床工学技士法」が昭和六十二年五月に制定 (公布 昭和六十二年六月二日、施行 昭和六十三年四月一日) されました。この法律に基づき臨床工学技士が誕生したのです。臨床工学技士は、医師の指示の下、生命維持管理装置の操作及び保守点検を業とする医療機器専門の技士で、医師をはじめ、看護師などと共にチーム医療の一員として患者さんの生命維持をサポートしています。昨今の医療技術の進歩が、医療機器の高度化・複雑化をさらに促進させています。その機器の適切な操作は安全で有効な治療に不可欠ですから、臨床工学技士は今後ま

すまず重要となります。

三、熊本県における臨床工学技士育成

昭和三十九年熊本大学医学部附属病院中央手術部の新設時、手術のカラー映像を臨床講義室へ実況放映する技術が導入され専任の技官が配置されました。電気機器の高度の専門家でしたから、医師とともに麻酔器の開発、電気メスの安全対策、院内医療機器のメンテナンス、研究機器の開発などに活躍し、当時より医療チームの一員として臨床工学の役割と重要性の認知普及に貢献してきました。また、昭和四十九年に臨床検査技師が人工透析の医療行為業務に就業し、九州では熊本が最初の出発点となりました。このように、熊本県では医療と工学の両分野の融合が理想的に行われる素地が十二分にあり、臨床工学技士養成施設のスムーズな開設につながったと思われます。

臨床工学技士法施行の翌年である平成元年に設立された熊本総合医療福祉学院 (平成二十二年四月熊本総合医療リハビリテーション学院に統合) の臨床工学科は九州で最も古い歴史があり、卒業生は七四一名を数え、国家試験合格率は常に全国平均を上回ってきました。また、県の臨床工学技士会も九州で最も早くから組織化されていて、表のごとく平成二十一年の会員数は二五八名です。人口当たりの会員数は東京都や福岡県より多く日本有数の組織で、技士会未加入者を含めますと三〇〇名以上の臨床工学技士が熊本県で就労していると思われま

四、全国状況

平成二十二年現在、全国の養成施設総数は六二校で、そのうち三六校が専門学校です。大学は四年課程、専門学校は三年課程が多いようです。近年の特徴は、私立大学における臨床工学科開設ラッシュです。その要因は高い有効求人倍率と就職率です。昨年度の熊本総合医療リハビリテーション学院の求人倍率は約一八倍で、就職率は例年一〇〇%です。リクルート調査による大卒の平均求人倍率一・六二倍を遙かに上回っています。法制化され二十年が経過し臨床工学技士免許取得者が全国で二万人を超え、そのうち二八%が透析等の血液浄化業務、

二二%が医療機器の保守点検、一〇%が呼吸治療、次いで手術室業務、不整脈治療、心臓カテーテル治療、人工心肺業務等にそれぞれ従事しています。また近年、内視鏡領域や眼科レーシック (角膜のレーザによる矯正) など、新しい分野の仕事も拡大しつつありますので、臨床工学技士の数は足りません。臨床工学技士の育成と増加の原動力は、国民の理解、とりわけ高度の医療を支え患者さんには見えないところで安全を確保するため日夜働いている人々への感謝の眼差しであると思えます。

都道府県別臨床工学技士会会員数

都道府県名	会員数	都道府県名	会員数	都道府県名	会員数
北海道	360	長野県	228	岡山県	198
青森県	103	静岡県	316	広島県	313
岩手県	116	愛知県	614	山口県	123
宮城県	265	岐阜県	130	徳島県	86
秋田県	120	三重県	196	香川県	132
山形県	131	富山県	86	高知県	85
福島県	198	石川県	99	愛媛県	104
茨城県	241	福井県	80	福岡県	347
栃木県	166	滋賀県	142	佐賀県	40
群馬県	165	京都府	273	長崎県	72
埼玉県	502	大阪府	608	熊本県	256
千葉県	470	兵庫県	456	大分県	233
東京都	844	奈良県	107	宮崎県	60
神奈川県	737	和歌山県	101	鹿児島県	168
新潟県	199	鳥取県	46	沖縄県	155
山梨県	96	島根県	84		